

議会報告会報告書

開催日時	令和7年2月2日（日） 10時00分 ～ 11時40分	
開催場所	三浦市総合体育館 研修室	
報告対象者	初声地区区長会（各区の役員等を含む）	
出席議員	代表者	小林 直樹
	議会運営委員会 委員長	神田 眞弓
	司会者	溝川 幸二
	報告者	出口 景介・小林 直樹
	記録者	溝川 幸二
	その他	出口 眞琴議長 他8人の議員
参加人数	16人 他5人の傍聴者	
報告会の概要	<p>開会 三浦市議会議長挨拶 区長会代表挨拶（飯森区区長） 議員自己紹介 各区役員等自己紹介 議会運営委員長から趣旨説明</p> <p>議会からの報告 （1）共通テーマ 議会におけるICT推進について 質疑応答 （2）地区別テーマ 防災について 質疑応答</p> <p>懇談 閉会</p>	

1. 共通テーマ 議会におけるICT推進について

	参加者からの発言	議会の回答
報告に対する 質疑応答	○タブレットを導入したことによる課題はあるか。	○全議員がタブレットを利用した情報を活用できていなかったのが課題である。そのため、スキルアッププロジェクトを始め、全体のタブレット利用スキル向上を目指すこととなった。
	○タブレットの利用は議会開催時のみか、プライベート利用時にサイト閲覧の制限はあるのか。	○自宅に持ち帰り活用している。検索時等、議員各人がモラルを持って利用している。
	○検索等履歴の管理はされているのか。	○議会用のサーバーを構築してあるが、いまのところ、キャッシュのチェックまでするような事態は起こっていない。 今後、必要になった場合にチェックするかを考えていかねばならない。
	○Wi-Fiの設置はされているか。	○設置されている。
	○個人のスマホ等も接続できるのか。	○個人のスマホ等は議会のWi-Fiには接続できない。
	○市の条例等はデジタル化されているのか。	○条例、例規集などはタブレットで閲覧できる。
	○市の文書は閲覧できるのか。	○議会事務局によりアップロードされた情報については閲覧可能である。
	○資料作成等はタブレット以外にPCを使用するのか。	○各議員によってまちまちである。各議員の使い慣れた端末を利用して資料作成等を行っている。

	<p>○市民への情報提供の簡易化はどのように行っていくのか。</p>	<p>○現状では議会内部で完結してしまっているのは否めない。 市民からの問い合わせに対し、タブレットの画面を見てもらいながら内容を説明するなどというのは、情報提供の簡易化に少し踏み込んでいるが、どのように進めていくのかは、今後のことになる。</p>
--	------------------------------------	--

2. 地区別テーマ 防災について

	参加者からの発言	議会の回答
報告に対する 質疑応答	<p>○議会は防災についてどのように関わっているのか。</p> <p>○総合防災訓練は議会主導で行っているのか。</p> <p>○総合防災訓練の問題点はあったか。</p> <p>○機材に不具合があり訓練放送が流れなかったのはおかしい。</p> <p>○防災倉庫の備蓄が貧弱である。防災倉庫の備蓄品などの具体的な検証を議会では行わないのか。</p> <p>○ハザードマップについて、想定外の状況に対して議会として検討されているのか。</p> <p>○避難所に段ボールベッドや照明の配備を願いたい。</p>	<p>○予算確保、市民からの通報による環境整備依頼などを行っている。</p> <p>○三浦市が行っている。</p> <p>○周知不足により参加者が少なかった。</p> <p>○担当部署へは今回の失敗を次回への教訓とするよう伝える。</p> <p>○防災危機対策室が行っている。議会としては、スタンドパイプの設置などに関する予算の議決を行った。防災倉庫の中身が貧弱であるという意見については、議会で検討していきたい。</p> <p>○議会全体としては検討していない。防災危機対策室を中心に行っている。</p> <p>○議会内で検討し担当部署へ伝達していく。</p>

	<p>○大きな津波が予想される地震が起きた場合、初声小学校の児童は避難が間に合うのか。</p> <p>○校舎内の垂直避難だけで良いのではないか。</p> <p>○防災無線が聞こえない。</p> <p>○南海トラフ等、巨大地震に対する津波の高さを議会として把握しているか。</p> <p>○初声小学校の児童に対し防災意識の啓発を行なう必要がある（意見のみ）</p>	<p>○地震の規模、津波到達の速度次第で校舎内で垂直避難するか、初声中学校まで水平避難するかは教職員が判断する。</p> <p>○初声小学校へ伝える。</p> <p>○担当部署へ意見を伝える。</p> <p>○市の地域防災計画では、南海トラフ巨大地震で想定される津波の高さは、最大3メートルから5メートルとなっている。他にも想定される地震があるが、想定外の地震が起きる可能性もあるため、最も安全な避難計画などの対策をしていく必要がある。</p>
--	---	--

懇談

参加者からの発言	議会の回答
<p>○各区分でHUG（避難所運営ゲーム）を取り入れてはどうか。</p> <p>○家屋の耐震補強に関する施策について伺いたい。</p>	<p>○市内で民間の団体が行っている防災活動があるので、連携していけるようなことも考えていきたい。</p> <p>○木造住宅耐震改修工事補助事業がある。木造住宅に対し、簡易耐震診断を行い、自宅がどのような状況なのか判断し、必要に応じて改修工事などを行なってほしい。</p>

上記のとおり報告します。

令和7年2月25日

議会運営委員長 様

報告者 溝川 幸二

議会報告会の様子



○初声地区担当の班員

左から

議会運営委員長	神田 眞弓 議員
説明員	出口 景介 議員
”	小林 直樹 議員
司会・記録	溝川 幸二 議員